



摩周のふくし

発行／社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会

弟子屈町中央2丁目10番25号 社会老人福祉センター内 (☎015-482-1054・FAX482-1236)



3月14日(日)ファミリー・サポート・センター会員交流会が社会老人福祉センター駐車場で開催されました。

今年度はコロナ感染の影響で開催が危ぶまれ、また前日から悪天候が予想された日でしたが、曇り空の中、会員他13名で外遊びを楽しみました。

講師はてしかが自然学校の萩原寛暢氏を迎え、室内で木のお話を聞いてから、外遊びを満喫しました。一番人気はやはり炭で焼く枝に巻き付けたパン、それに焼きマシュマロ。美味しく頬張った後は、河川敷で型に雪を入れて形を作ったり、雪ブロックを使った基地づくりを楽しみました。

これからもファミリー・サポート・センターでは交流会を開催して会員の親睦を深めていきます。令和3年度は年に2回の開催を計画しておりますので、会員の皆さんお楽しみに。

INDEX



ファミリー・サポート交流会	表紙
事業計画	P 2～3
資金収支予算	P 4
予算内訳	P 5
ボランティアセンターだより	P 6
収集ボランティア報告	P 7
新職員紹介・寄付物品の紹介等	P 8



令和3年度 弟子屈町 社協事業計画

基本目標

- ◆誰もが安心して暮らせるまちづくり
- ◆安全・安心・福祉のまちづくり

基本計画1. みんなが支え合う 地域づくり

ボランティア意識の啓発

- 中・高校生ワークキャンプ事業の実施
福祉施設での体験学習や講座を通じ、中・高校生のボランティア活動への理解と、地域における福祉教育の振興を図ります。
- 福祉教育推進事業の実施
学校等のボランティア活動の情報交換や交流を図るため「学校ボランティア連絡協議会」を開催します。
- 児童・生徒のボランティア活動支援事業の実施
町内の小・中学校、高等学校を対象に、ボランティアの心と連携の精神を培うため、協力校を指定し福祉に関する体験学習や交流等の活動を支援します。

子育て支援の推進

- ファミリー・サポート・センター事業の実施
弟子屈町が実施する子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）を継続受託し、子どもの預かり手増加確保のための取組を推進するなど、事業の円滑な運営に取り組んでまいります。
- レスパイト事業の実施
障がいを持つ子どもを一時的に預かり、保護者にその時間を有効活用してもらうとともに、保護者の相互交流や研修等を行う事業を実施します。

生活基盤の確保

- 生活福祉資金の相談対応
新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響の長期化等を踏まえ、生活困窮者への支援について、引き続き道社協及び自立相談支援機関との連携を図ってまいります。また、道社協が実施する生活福祉資金貸付制度の相談や借入申請等を受け付けるとともに、民生委員との連携を図り相談から貸付後までの自立に向けた支援に取り組めます。
- 生活困窮者等に対する安心サポート事業の実施
道社協や自立相談支援機関との連携により生活困窮者へ食材や生活必需品等の現物給付による支援を実施します。
- 愛情銀行事業の実施
火災による全焼家庭へ見舞金を送るなど臨時的な救済援助を実施します。

基本方針（要約）

昨年発生した新型コロナウイルス感染症により、生活様式や働き方に大きな変化が生じ、様々な地域福祉活動が制約を受け、住民同士のつながりや支え合いなど生活に不安を抱えられる方も増えています。

本社協は、これまでの実績を活かし、住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けるための「見守り」「声かけ」「助け合い」などの福祉活動の継続的な実践など、新型コロナウイルス感染症との闘いが長期化している中でも、これまで築いてきた住民同士のつながりを絶やさず、支え・支えられる関係の循環づくり・誰もが役割と生きがいを持つ社会づくりに引き続き取り組んでまいります。



ボランティア活動の支援

- ボランティアセンター運営事業の実施
住民に広くボランティア活動についての関心と理解を深めていただくために、ボランティアの登録や斡旋、研修会などを行います。
- 寄贈品の配分及び管理の実施
雑巾、紙おむつ、清拭布等の寄贈品の管理と希望する施設等への配分を行います。
- リングブル等の収集活動事業への支援
リングブル、使用済み切手、キャップ、書き損じハガキなどの収集活動への支援を行います。
- 有償ボランティアの実施
ボランティア活動を推進するため在宅福祉協力員など謝金による有償ボランティアを実施します。
- 災害ボランティアへの支援
災害ボランティアとして登録している方の活動に対しての支援を行うとともに、本会策定の「災害時対応マニュアル（平成30年7月）」により災害に備えます。
- 災害ボランティアセンターの運営体制の強化
弟子屈町との協定により、災害時に立ち上げられる災害ボランティアセンターの運営に備え、職員の資質向上に努めます。
- 日赤奉仕団との連携強化
日赤奉仕団の地域災害ボランティア活動に対して、町総合防災訓練などを通じて連携を深めてまいります。

住民交流の推進

- 待合室「みちくさ」の運営支援
子どもから高齢者までが気軽に立ち寄り「休息・待ち合わせ・交流等の場」として活用される待合室「みちくさ」の維持管理を行い、その運営を支援します。
- ふれあいサロン事業の推進
待合室「みちくさ」との連携により、自宅に閉じこもりがちな高齢者などの交流や意見交換を行う「ふれあいの場」を提供します。
- 布絵ハガキの送付支援
布絵サークルとの連携により町内在住のひとり暮らし高齢者宅に、会員が作成した季節ごとの「布絵ハガキ」を郵送し、孤立感の解消を図ります。
- 行事用テントの貸し出し及び管理
町内の団体が行事等で使用するテントを無償で貸し出し、地域の交流を支援します。

基本計画2. みんなが安心して生活できる地域づくり

在宅福祉サービス事業の実施

●入浴サービス事業

家庭において入浴の困難な寝たきり老人等に対して、特養摩周の特殊浴場を利用し入浴サービスを実施します。

●移送サービス事業

おおむね65歳以上で身体機能が低下しており、家族等の送迎援助が得られない事情を抱えているとともに、公共交通機関等を利用し通院、入退院などが困難な者に対し、移送サービスを行います。

●訪問サービス事業

安否確認が必要と思われる一人暮らしの70歳以上の町民を対象に、ヤクルト販売員が乳酸菌飲料を持参して訪問し、安否確認等を行います。

●老人世帯等除雪援助事業

自宅前の生活路を自力で除雪することが困難な、おおむね70歳以上の老人世帯及び重度心身の障がい者世帯に対し除雪の援助を行い、避難通路の確保を行います。

●給食サービス事業

おおむね65歳以上の高齢者世帯等で調理が困難な者や栄養改善が必要な者に定期的に給食を届け、食事の確保と安否の確認を行います。

●雪下ろし費用助成事業

おおむね70歳以上の高齢者世帯または障がい者世帯が居住する家屋において、落雪等により物損や人身事故などの恐れがある場合、雪下ろし費用の一部を助成します。

●高齢者生きがい活動支援通所事業

在宅で生活する介護認定非該当の高齢者を対象に、デイサービスセンターにて食事やレクリエーション等のサービス提供を行います。

●高齢者等軽度生活援助事業

在宅で生活する介護認定非該当の高齢者に、生活援助員が居宅内の清掃などの軽易な日常生活の援助を行います。

●在宅生活安心支援事業

既存の入浴、移送、訪問、除雪等の在宅福祉サービスや制度のみでは対応しきれない高齢者や障がい者等の個別性が極めて高い支援ニーズに対し援助を行います。

介護保険サービス及び障害福祉サービスの実施

●訪問介護及び居宅介護事業

訪問介護員が要介護者や障がい者の家庭を訪問して、身体介護や家事援助並びに生活等に関する相談、助言その他生活全般に渡る援助を行います。

●居宅介護支援事業

居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービスや福祉サービスを適切に利用できるよう、ケアプランなどの作成・運用を通じて要介護者とサービス提供事業者や行政との連絡・調整を行います。

●デイサービス事業

弟子屈町からの指定管理を受け入浴、食事、レクリエーション等のサービスの提供を行い、在宅生活が維持できるよう支援するとともに、利用者の社会的孤独感の解消や心身機能の維持並びに利用者家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。

地域福祉権利擁護事業の実施

●日常生活自立支援事業の実施

在宅で生活している方やその予定がある方で、高齢や知的障がい、精神障がいにより日常生活の判断能力に不安がある場合、道社協が実施する「日常生活自立支援事業」により福祉サービスの利用相談や生活支援計画に基づく生活支援員による生活費の管理、年金証書などの大切な書類の預かりなどのお手伝いを行います。

●法人後見（成年後見）事業の実施

認知症などにより判断能力が低下した方や知的障がいのある方など、自分では財産を適切に管理できなくなった方に対して、社協（法人）が後見人、保佐人もしくは補助人になり、財産管理や身上監護を行います。

●市民後見人養成講習会の開催

認知症等により判断能力が不十分な町民の権利を守り、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることができるよう支援する市民後見人を養成するための講習会を開催します。

●介護予防ボランティア派遣事業の実施

弟子屈町が実施する一般介護予防事業を受託し、高齢者が要介護状態にならないよう介護予防教室や高齢者サロンへボランティアサポーターを派遣します。

社協基盤の強化

●法人運営体制の強化

地域住民から信頼される社協として、社会福祉事業の着実な実施と提供するサービスの質の向上に努めるとともに、適正かつ公正な組織運営に取り組んでまいります。

●安定的な法人経営

既存の事業の見直しや補助金・助成金等の有効活用を図るとともに、経費削減の意識をさらに高め引き続き安定的な法人運営ができるよう努めます。

●赤い羽根共同募金・

歳末たすけあい運動の推進

募金額が減少傾向にある中、幅広い地域福祉活動の支援に募金が活かされていることを広報誌やPR活動により周知し、より一層、寄付者の共感を得た活動に取り組みます。

●福祉団体の活動支援

遺族会、老人クラブ連合会、共同募金委員会、ボランティア連絡協議会などの活動が円滑に展開できるよう事務局を担ってまいります。

●高齢者就労センターの運営強化

高齢者の経験と能力を活かし働くことを通して、生きがいの充実や健康の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに貢献するため事業の安定的な運営に取り組んでまいります。

●弟子屈町社会老人福祉センター管理業務の受託

弟子屈町より社会老人福祉センターの管理業務を受託し、適正な維持管理を図るとともに、利便性の向上など安定したサービスの提供に努めます。

基本計画3. 地域福祉を支え、頼りになる社協づくり

地域福祉実践計画の適正運用

●第5期地域福祉実践計画の管理と評価

平成29年に策定した第5期地域福祉実践計画の最終年（5年計画）を迎え管理と評価を行います。

●第6期地域福祉実践計画の策定

本年度で計画期間を満了する第5期計画の進捗状況の把握と評価を行い、令和4年度からスタートする第6期計画（令和4年度～令和8年度）の策定に取り組んでまいります。

社協事業の住民理解の推進

●社協だよりの充実やホームページの管理

年5回発行の社協だより「摩周のふくし」の充実やホームページの適正管理を図り社協事業について、より一層の理解と協力が得られる広報活動に努めます。

令和3年度 弟子屈町 社協資金収支予算書

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	摘 要・内 訳
会 費 収 入	1,145	1,225	-80	一般会費 1□500円／賛助会費 1□2,000円
寄 付 金 収 入	311	320	-9	
経 常 経 費 補 助 金 収 入	45,562	44,840	722	弟子屈町／共同募金配分金
受 託 金 収 入	27,957	26,920	1,037	町受託事業／道社協受託事業
貸 付 事 業 収 入	415	426	-11	
事 業 収 入	6,135	6,115	20	給食利用者負担金 他
介 護 保 険 事 業 収 入	83,288	80,878	2,410	訪問介護事業／居宅介護支援事業／ デイサービス事業
障害福祉サービス事業収入	1,895	1,752	143	訪問介護事業
受取利息配当金収入	6	6	0	
そ の 他 の 収 入	34	34	0	
事業活動収入計(1)	166,748	162,516	4,232	
人 件 費 支 出	96,416	90,892	5,524	職員給与・社会保険料等
事 業 費 支 出	53,124	53,372	-248	
事 務 費 支 出	15,041	14,701	340	
貸 付 事 業 支 出	357	377	-20	
共同募金配分金事業費支出	508	503	5	
助 成 金 支 出	1,282	1,262	20	福祉団体運営費助成金
流動資産評価損等 による資金減少額	20	20	0	
事業活動支出計(2)	166,748	161,127	5,621	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0	1,389	-1,389	
施設整備等収入計(4)				
固定資産取得支出		1,389	-1,389	
施設整備等支出計(5)		1,389	-1,389	
施設整備等資金 収支差額(6) = (4) - (5)		-1,389	1,389	
その他の活動収入計(7)				
その他の活動支出計(8)				
その他の活動資金 収支差額(9) = (7) - (8)				
予 備 費 支 出 (10)				
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	0	0	



拠点区分別 予算内訳

4ページの資金収支予算書の
内訳となる3つの
拠点区分別の予算です。



拠点区分 社協事業

(法人運営事業・在宅福祉サービス事業・福祉センター管理事業・権利擁護推進事業・地域福祉推進事業・ボランティアセンター事業・ファミリー・サポート・センター事業・介護予防事業・生活福祉資金貸付事業・愛情銀行事業)

(単位：千円)

科 目	本年度予算額
会 費 収 入	1,145
寄 付 金 収 入	311
経常経費補助金収入	45,562
受 託 金 収 入	11,057
貸 付 事 業 収 入	415
事 業 収 入	6,135
受取利息配当金収入	2
そ の 他 の 収 入	32
事業活動収入計(1)	64,659

科 目	本年度予算額
人 件 費 支 出	29,271
事 業 費 支 出	25,386
事 務 費 支 出	7,835
貸 付 事 業 支 出	357
共 同 募 金 配 分 出	508
助 成 金 支 出	1,282
流動資産評価損等 による資金減少額	20
事業活動支出計(2)	64,659
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0
当期資金収支差額合計(4)	0



拠点区分 介護保険事業 (訪問介護事業・居宅介護支援事業・デイサービスセンター事業)

(単位：千円)

科 目	本年度予算額
介護保険事業収入	83,288
障害福祉サービス 等事業収入	1,895
受取利息配当金収入	3
そ の 他 の 収 入	1
事業活動収入計(1)	85,187

科 目	本年度予算額
人 件 費 支 出	67,145
事 業 費 支 出	11,448
事 務 費 支 出	6,594
事業活動支出計(2)	85,187
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0
当期資金収支差額合計(4)	0



拠点区分 高齢者就労センター事業

(単位：千円)

科 目	本年度予算額
受 託 金 収 入	16,900
受取利息配当金収入	1
そ の 他 の 収 入	1
事業活動収入計(1)	16,902

科 目	本年度予算額
事 業 費 支 出	16,290
事 務 費 支 出	612
事業活動支出計(2)	16,902
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0
当期資金収支差額合計(4)	0

ボランティアセンターだより



地域食堂 月1回開催 ～キッチン・みちくさ～

月1回第3土曜日に行われている地域食堂。

地域住民の交流の場として幅広い年齢層の人を受け入れながら、「食」を通じた支援活動に取り組んでおります。

コロナ禍の中、密にならないように今は老人福祉センターでお弁当の提供をしております。

5月は「三食ごはん」の予定です。食事のあとは、子どもたちが走りまわって遊べるように、通常どおりの地域食堂を開催したいと思っておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、通常の開催が難しい場合は、お弁当配布の形で対応していきます。



料金

幼児無料

小・中・高校生 100円
大人 300円

※準備の都合上、
完全予約制です。



3月に提供した「ミックスフライ弁当」

食材の寄付・ボランティアを 募集しています

「地域食堂」で使用するための食材の寄付を募集しております。

活動に賛同して頂ける方は、待合室「みちくさ」までご連絡ください。



弟子屈高校生が子どもたちのために
手作りした鬼のカップ

◆お問い合わせ先◆

待合室「みちくさ」 TEL482-2858 まで

待合室みちくさ ～お知らせ～

「待合室みちくさ」では、5月5日の子どもの日を記念して、5月人形、鯉のぼりを展示しています。立派な「兜」や室内いっばいに泳ぐ「鯉のぼり」がみなさんをお待ちしております。

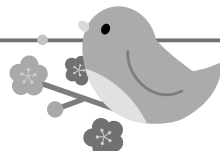
ぜひお立ち寄り
ください。



収集ボランティア活動報告

弟子屈町社会福祉協議会預かり分
ボランティアセンター預かり分

令和3年2月6日～令和3年4月9日まで



◆エコキャップ◆

特別養護
老人ホーム摩周 様
川湯の森病院 様
野村 ミツ子 様
弟子屈高校 様
釧路信用金庫
弟子屈支店 様
役場 こども支援係 様
辻谷建設(株) 様
矢野 良洋 様
木村 幸恵 様
セイコマート山名 様
花の店ヒロ一 様
舘 富子 様
山内サッシ 様

認定こども園
ましゅう 様
水谷 弘子 様
JA摩周湖女性部 様
東洋実業 様
フレンドリーショップ
きたさん 様
ダルマ屋 様
田畑 洋子 様
大畑 勇一 様
桜 さくら 様

◆リングプル◆

特別養護
老人ホーム摩周 様
弟子屈小学校 様
辻谷建設(株) 様

矢野 良洋 様
花の店ヒロ一 様
認定こども園
ましゅう 様
フレンドリーショップ
きたさん 様
北崎 雅雪 様
北崎 仁皓 様

◆古切手◆

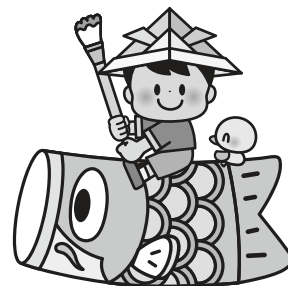
釧路信用金庫
弟子屈支店 様
役場 税務課 様
塩沢 照子 様
辻谷建設(株) 様
べんり屋すずき 様

◆ベルマーク◆

矢野 良洋 様

◆テレフォンカード◆

塩沢 照子 様
竹内 勲 様



ボランティアの集い

令和3年3月25日(木)10時から、社会老人福祉センターの1階和室にて、弟子屈町ボランティア連絡協議会の会員26名が参加し、令和2年度ボランティアの集いが開催されました。

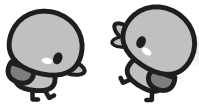
さわやか福祉財団の鍵政弘子さんを講師に「サロン活動」を続けるうえでの苦労や感動的なエピソード、今後の展望などのお話をいただきました。



講演の後は、お寄せいただいたリングプルを、磁石を使って異物（金属、石、ゴミ）などを取り除く選別作業を行い、アルミのリングプルを1袋25kgの大袋にまとめました

リングプルは700kgで車イス1台と交換出来るので、車いすと交換するまでにはまだまだ時間がかかりそうです。

引き続き町民の皆さまには、収集ボランティアにご協力いただきますようお願い致します。



あたたかい善意をありがとうございます

令和3年2月6日から令和3年4月12日までにお寄せいただいた「寄附金」・「寄贈品」を紹介します。

寄 附 金

- ◆千葉家一同 様 50,000円 (亡母が生前お世話になったお礼として)
- ◆ゴルフ「平日会」 様 4,492円 (社会福祉のために使っていただきたい)

寄 贈 品

- ◆長崎 初子 様 毛糸の靴下 20足 (必要な方のために使ってください)
手 袋 1組
- ◆塩沢 照子 様 ウェス (介護をされている方のために役立ててください)
- ◆窪田 国広 様 紙オムツ (必要な方のために使ってください)
<男女兼用Mサイズ>
- ◆飯島 トシ 様 毛糸の靴下 53足 (必要な方のために使ってください)

新任職員紹介



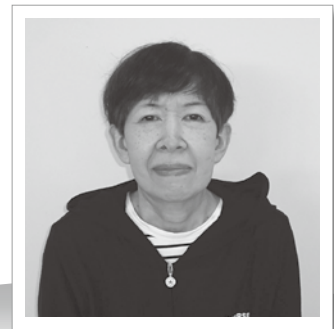
施設長 **中川 勝明**

この度、弟子屈町役場を定年退職し、当デイサービスセンター施設長として勤務させていただくことになりました。

利用者様からの信頼を得られますよう頑張りますので、温かいご支援の程、よろしくお願い致します。

介護助手 **樋口 恵美**

3月より、デイサービスセンターで勤務しております。介護の仕事は初めてなので、早く仕事になれたいと思っています。
よろしくお願い致します。



社会福祉法人
弟子屈町社会福祉協議会

〒088-3211
弟子屈町中央2丁目10番25号
弟子屈町社会老人福祉センター内

TEL 015-482-1054
FAX 015-482-1236



社協の運営は、皆様の温かい善意に支えられています。

社会福祉協議会は、行政や地域住民の皆様が安心して暮らすことができる福祉の町づくりに取り組んでいます。

慶弔のお返しにかえて、また結婚や出産等を記念して、地域福祉のご厚情をお待ちしております。

ご意見ご感想をお寄せください(公式ホームページからも受け付けております。 <http://teshikaga-shakyo.jp>)